

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 4 月 30 日 (2021.4.30)

【公表番号】特表 2020-511875 (P2020-511875A)

【公表日】令和 2 年 4 月 16 日 (2020.4.16)

【年通号数】公開・登録公報 2020-015

【出願番号】特願 2019-552112 (P2019-552112)

【国際特許分類】

H 0 4 W 16/28 (2009.01)

H 0 4 W 88/02 (2009.01)

H 0 4 W 56/00 (2009.01)

H 0 4 W 76/19 (2018.01)

H 0 4 W 74/02 (2009.01)

H 0 4 B 7/06 (2006.01)

H 0 4 W 76/28 (2018.01)

【F I】

H 0 4 W 16/28

H 0 4 W 88/02 1 5 0

H 0 4 W 56/00 1 3 0

H 0 4 W 76/19

H 0 4 W 74/02

H 0 4 B 7/06 9 5 6

H 0 4 W 76/28

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 3 月 19 日 (2021.3.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無線通信システムにおいてユーザ機器 (UE) がビーム失敗回復過程を実行する方法であって、

前記ユーザ機器が、ビーム失敗回復に対する任意接続リソースに関する第 1 設定情報を基地局 (BS) から受信するステップと、

前記ユーザ機器が、下りリンクビーム失敗を検出するステップと、

前記ユーザ機器が、前記下りリンクビーム失敗の検出に基づいて、及び前記第 1 設定情報に基づいて、前記任意接続リソース上で前記ビーム失敗回復に対する競争フリー任意接続過程を行うステップと、を含み、

前記第 1 設定情報は、前記ビーム失敗回復に対する試行の最大回数に関する情報を含み、前記方法は、

前記ビーム失敗回復に関連する前記競争フリー任意接続過程に対する試行の回数が前記最大回数に達しているか否かを決定するステップと、

前記ビーム失敗回復に関連する前記競争フリー任意接続過程に対する試行の回数が前記最大回数に達していることに基づいて、セルへの接続を実行するための競争基盤任意接続過程を行うステップと、をさらに含む、方法。

【請求項 2】

前記任意接続リソースは、下りリンクビームのうち、前記ユーザ機器により測定された最適の下りリンクビームに対応する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記第 1 設定情報は、複数の同期信号ブロックに対する各々の任意接続リソースに関する情報を含み、

前記任意接続リソースは、前記複数の同期信号ブロックに対する前記各々の任意接続リソースのうちの 1 つである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記複数の同期信号ブロックに対する測定を行うステップをさらに含み、

前記任意接続リソースは、前記複数の同期信号ブロックのうち、最大の受信電力を有する同期信号ブロックに対応する、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

下りリンクビームごとの測定参照信号を測定するためのビーム測定を行うステップと、
前記基地局から受信された上りリンクグラントを用いて下りリンクビーム測定の結果を報告するためのビーム測定報告を送信するステップと、をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

下りリンクビームごとの前記測定参照信号は、下りリンクビームごとの同期信号又は下りリンクビームごとのチャネル状態測定参照信号である、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

無線通信システムにおいてビーム失敗回復過程を実行するユーザ機器 (UE) であって、

無線周波数 (RF) 送受信器と、

プロセッサと、

少なくとも 1 つのプログラムを格納するコンピュータメモリと、を含み、

前記少なくとも 1 つのプログラムは、実行時に、前記プロセッサに、

前記 RF 送受信器を通して、ビーム失敗回復に対する任意接続リソースに関する第 1 設定情報を基地局 (BS) から受信し、

下りリンクビーム失敗を検出し、

前記下りリンクビーム失敗の検出に基づいて、及び前記第 1 設定情報に基づいて、前記任意接続リソース上で前記ビーム失敗回復に対する競争フリー任意接続過程を行うことを含む動作を実行させ、

前記第 1 設定情報は、前記ビーム失敗回復に対する試行の最大回数に関する情報を含み、前記動作は、

前記ビーム失敗回復に関連する前記競争フリー任意接続過程に対する試行の回数が前記最大回数に達しているか否かを決定し、

前記ビーム失敗回復に関連する前記競争フリー任意接続過程に対する試行の回数が前記最大回数に達していることに基づいて、セルへの接続を実行するための競争基盤任意接続過程を実行することをさらに含む、ユーザ機器。

【請求項 8】

前記ユーザ機器が、前記セルへの初期接続に対する任意接続リソースに関する第 2 設定情報を受信するステップをさらに含み、

前記第 1 設定情報は、前記第 2 設定情報と区別される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記任意接続リソースは、下りリンクビームのうち、前記ユーザ機器により測定される最適な下りリンクビームに相当する、請求項 7 に記載のユーザ機器。

【請求項 10】

前記第 1 設定情報は、複数の同期信号ブロックに対する各々の任意接続リソースに関する情報を含み、

前記任意接続リソースは、前記複数の同期信号ブロックに対する前記各々の任意接続リ

ソースのうちの 1 つである、請求項 7 に記載のユーザ機器。

【請求項 1 1】

前記プロセッサは、前記複数の同期信号ブロックに対する測定を行うようさらに構成され、

前記任意接続リソースは、前記複数の同期信号ブロックのうち、最大の受信電力を有する同期信号ブロックに対応する、請求項 1 0 に記載のユーザ機器。

【請求項 1 2】

前記プロセッサは、

下りリンクビームごとの測定参照信号を測定するためのビーム測定を行い、

前記基地局から受信された上りリンクグラントを用いて下りリンクビーム測定の結果を報告するためのビーム測定報告を前記 R F 送受信器を通して送信するようさらに構成される、請求項 7 に記載のユーザ機器。

【請求項 1 3】

下りリンクビームごとの前記測定参照信号は、下りリンクビームごとの同期信号又は下りリンクビームごとのチャネル状態測定参照信号である、請求項 1 2 に記載のユーザ機器。

【請求項 1 4】

前記動作は、前記セルへの初期接続に対する任意接続リソースに関する第 2 設定情報を前記 R F 送受信器を通して受信することをさらに含み、

前記第 1 設定情報は、前記第 2 設定情報と区別される、請求項 7 に記載のユーザ機器。